

田人地区 地域おこし協力隊

ちーの山暮らし物語

三和地区 協力隊仲間の畑を見学してきました！

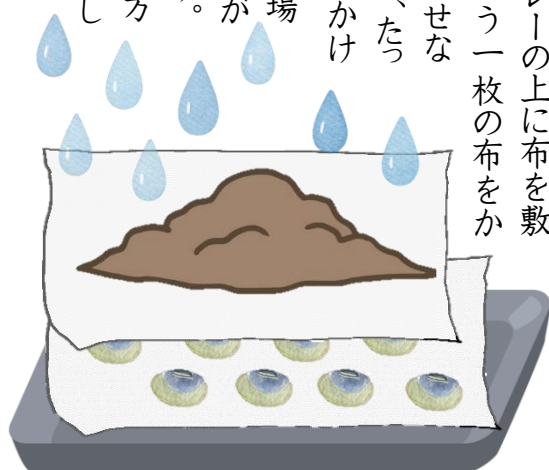
八月のことですが、同じ「むすめきたか」を栽培している三和地区の協力隊Hさんの畑を見学に行ってきました。Hさんの畑の大きさは約7アール、半分以上はむすめきたか、残りはさとまめとのり豆を栽培しています。三和の種まきの適期、収穫量の変化などを知るために、むすめきたかの種まきは、六月末に一回目、一週間後に二回目、また、その一週間後に三回目を行ったそうです。管理は定期的に除草作業を行っています。（写真は八月上旬の株の様子です。）

私のむすめきたかの圃場は、六月に入つてすぐに種まきをしました。八月上旬頃に、株が大きく成長し、台風の影響を乗り越えて、下旬頃には花が咲き始めました。秋の収穫を迎える日、それぞれの結果が楽しみです。

今年のはのり豆を初めてまきました。四十粒ほどまきましたが、二粒しか発芽しませんでした。三和地区のKさんからうまく発芽させる方法を教えてもらいました。

その方法はトレーの上に布を敷き、種を載せてもう一枚の布をかぶせます。乾燥させないよう、土をかけ、たっぷり一回水をかけて日陰の涼しい場所に置くと発芽が良くなるそうです。

来年、このやり方でのり豆を挑戦しようと思います。



一回目種まきした株



二回目種まきした株



三回目種まきした株

大根の種まき

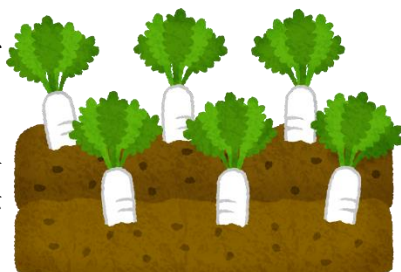
田人地区では、昔からお盆が明けると大根の種まきの時期になりますが、去年は暑くてその時期に蒔いた大根は発芽しなかったり、病気でだめになってしまいました。そして、九月の頭にまき直したら、綺麗でみずみずしい大根ができました。その経験を踏まえて今年は九月二日に種をまきました。

今年は雨が多く、草の伸びが早いです。大根の圃場を準備するのに、草を刈って、刈った草を堆肥枠に入れ、いつもお世話になっているYさんにお願ひし、畑を耕してもらいました。

雨が降る前に早めに畝立て、大根の種を三粒ずつ、株間三十センチで十列まきました。数日が経って可愛い芽が出てきましたが、大雨で畝が浸水してしまい、根っこが呼吸するためのスペースが減り、太陽が出ると、土の表面が硬くなってしまう。生育環境を良くするために、軽く中耕し、これから生育状況を観察したいと思います。



大根の種



大久地区いわき伝統野菜の畑を見学してきました！



修復作業中のさとまめ



Nさん畑のさとまめ



Nさん畑のじゅうねん

順調に育てたさとまめが台風の影響で花が咲いたところ

で倒れ、葉が黄色くなつてしまいました。修復したくても無理やり直すと、茎が折れる可能性があります。茎が折れたら株ごと枯れてしまいます。畑は冠水の状態が続いて沼のようになり、手出しができませんでした。その時に、じゅうねんやさともめなどのいわき伝統野菜を栽培している大久地区じゅうねん保存会のNさんの畑を見に行く機会がありました。

Nさんの畑は、じゅうねんの種まきをしないでも、去年収穫の時にこぼれた種から芽が出て、それを育てています。私は今年もじゅうねんをまきましたが、発芽しませんでした。じゅうねんは、自然と落ちた種のほうが発芽しやすいと思いました。

また、Nさんの畑のさとまめは台風に影響されませんでした。が、じゅうねんが倒れたり、斜めになったり、葉が黄色っぽくなつてしまいました。症状は自分のさとまめに似ていたため、さとまめの修復対策をNさんに聞きました。

Nさんから教えてもらった方法で、倒れた株は真っ直ぐにして、倒れないように土寄せしました。真っ直ぐにする際に、茎が折れそうな株は無理をせず、葉や莢を土に付けないように斜めに土寄せしました。

連日の雨で、株が倒れて土に付いた部分は腐ってしまったので、できる限り早く修復作業を進め、次の水害が来る前に終わらせました。しかし、莢が空っぽで収穫までに実が入るか否かを心配しながら、観察しています。

お邪魔します！

ダーラウラ
打擾了！



中国語ミニ教室

野菜

レン オウ
蓮 藕

訳：蓮根（れんこん）

食べ物

チョウ ダウ ユー
秋刀魚

訳：秋刀魚（さんま）

お花

グエイ ホア
桂 花

訳：金木犀（きんもくせい）